

問1 「南南問題」が深刻化している背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 島根県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. すべての発展途上国が工業化に成功し、特定の一次製品の輸出に頼るモノカルチャー経済から完全に脱却したため。 | 2. 先進国による政府開発援助（ODA）が特定の発展途上国だけに集中し、その他の国々への支援が完全に打ち切られたため。 | 3. 先進国と発展途上国の経済格差が解消された結果、発展途上国同士による資源の奪い合いが激化したため | 4. 資源価格の高騰や工業化の進展により、一部の発展途上国が急速な経済成長を遂げた一方で、開発が遅れた後開発途上国との差が広がったため。 |
|---|---|--|--|

問2 2015年に採択された、2020年以降の地球温暖化対策の国際的な枠組みである「パリ協定」について、2017年に当時の政権が離脱を表明した国を答えなさい。（2018年 沖縄県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------|------------|----------|--------|
| 1. 中華人民共和国 | 2. アメリカ合衆国 | 3. ロシア連邦 | 4. インド |
|------------|------------|----------|--------|

問3 廃棄物の発生を抑制し、壊れたものを修理して長く使い、使い終わったものを再び資源として活用する取り組みによって、地球の限られた資源を将来にわたって大切に使い続ける社会のあり方を何といいますか。（2015年 岡山県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|
| 1. 知識基盤社会 | 2. 循環型社会 | 3. 大量消費社会 | 4. 高度情報社会 |
|-----------|----------|-----------|-----------|

問4 国際協力の形の一つである「フェアトレード（公正貿易）」が求められる背景とその目的について、最も適切な説明はどれですか。（2020年 滋賀県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 世界貿易機関（WTO）の主導により、あらゆる国々の間での関税を撤廃し、自由な競争を促すこと。 | 2. 先進国の経済的利益を最優先するため、開発途上国の製品に高い関税をかけて輸入を制限すること。 | 3. 開発途上国の生産者が安定した生活を送り自立できるよう、農産物などを適正な価格で継続的に買い取ること。 | 4. 開発途上国の食料不足を解消するため、先進国で余った農産物を無償で大量に提供し続けること。 |
|---|--|---|---|

問5 「南南問題」が深刻化している背景として、発展途上国の中で生じている状況を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2019年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. すべての発展途上国が工業化に成功し、先進国との貿易摩擦が激化したことで世界経済が混乱したこと | 2. 発展途上国が団結して資源ナショナリズムを提唱し、先進国に対して有利な貿易条件を要求したこと | 3. 石油などの天然資源の有無や、工業化の進展度の違いによって、発展途上国間での経済成長に大きな差が生まれたこと | 4. 北半球に位置する先進工業国による、南半球の発展途上国に対する経済援助が完全になくなったこと |
|---|--|--|--|

問6 地球温暖化などの気候変動によって、私たちの生活にはすでに様々な影響が出始めています。温室効果ガスの排出を抑えるといった原因への対策だけでなく、どうしても避けられない気候変動の被害をあらかじめ回避・軽減するために、社会の仕組みや行動を調整していく取り組みを何と呼びますか。（2026年 和歌山県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 緩和策 | 2. 循環策 | 3. 適応策 | 4. 保全策 |
|--------|--------|--------|--------|

問7 2015年に採択された、京都議定書とは異なり、途上国を含むすべての国が温室効果ガスの削減目標を設定して取り組むことを定めた国際的な協定を何というか。（2026年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------|----------|------------|---------|
| 1. リオデジャネイロ宣言 | 2. 京都議定書 | 3. ワシントン条約 | 4. パリ協定 |
|---------------|----------|------------|---------|

問8 沖縄県などの地域調査においてエネルギー供給の在り方を検討する際、各電源の経済性を把握することは不可欠です。2014年の試算に基づき、1kWhあたりの発電単価が低いものから高いものへと順に並んでいる組み合わせを選びなさい。（2018年 沖縄県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------|---------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 液化天然ガス（LNG） → 石炭 → 太陽光 | 2. 太陽光 → 風力 → バイオマス | 3. 石炭 → 液化天然ガス（LNG） → 地熱 | 4. 風力 → 地熱 → 液化天然ガス（LNG） |
|---------------------------|---------------------|--------------------------|--------------------------|

問9 政治分野や企業の管理職における男女間の差について、性別による差別や偏見をなくし、相互理解を深めることが重要であると指摘されています。このような背景のもと、持続可能な開発目標（SDGs）の目標5として掲げられているものはどれですか。（2023年 鳥取県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------|-----------------|-----------------|---------------|
| 1. ジェンダー平等を実現しよう | 2. 平和と公正をすべての人に | 3. 人や国の不平等をなくそう | 4. 働きがいも経済成長も |
|------------------|-----------------|-----------------|---------------|

問10 2000年から2020年にかけての世界の統計において、G7諸国は世界全体の人口に占める割合が約1割程度であるのに対し、世界全体の国内総生産（GDP）に占める割合は依然として大きなシェアを維持しています。一方、G7以外の諸国は人口の約9割を占めますが、GDPのシェアはそれに見合うほど大きくありません。このような状況から読み取れる内容として、最も適切な説明を次のうちから選びなさい。（2024年 大阪府公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 世界の人口の大部分がG7諸国に集中しているため、G7以外の国々との間で1人当たりの経済格差は解消されつつある。 | 2. G7以外の国々は、2000年以降の急速な経済成長により、すでに1人当たりの国内総生産においてG7諸国を追い抜いている。 | 3. G7諸国の1人当たりの国内総生産は、世界全体の人口が増加した影響を受けて、2000年当時よりも大幅に減少している。 | 4. G7諸国は、人口比に対してGDPのシェアが非常に大きいため、1人当たりの国内総生産がG7以外の国々よりも高い水準にある。 |
|--|--|--|---|

問11 地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減に向けた国際的な動向について、その背景や仕組みを正しく説明しているものはどれですか。（2025年 栃木県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 森林面積の減少を防ぐため、すべての国に対して木材の輸出入を全面的に禁止する条約がパリ協定の主軸となっている。 | 2. 先進国が排出枠を途上国に売却する仕組みを導入することで、世界全体の工業化を一時的に停止させることを目指している。 | 3. 酸性雨による被害を防ぐため、硫酸化物の排出を制限することが地球温暖化対策の最も直接的な目的である。 | 4. 石炭や石油などの化石燃料の使用を抑え、二酸化炭素の排出を抑制することで、地球全体の平均気温の上昇を抑えようとしている。 |
|---|---|--|--|

問12 地球温暖化を抑制し持続可能な社会を形成するためには、移動手段の選択が重要です。1人の人間が1km移動する際に排出される二酸化炭素（CO₂）の量を比較した統計において、自家用車が約130g、バスが約55g、鉄道が約20gという結果が出ているとき、最も環境負荷が小さい移動手段として適切なものを選びなさい。（2022年 長野県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------|----------|----------|-----------|
| 1. 自家用車の利用 | 2. 鉄道の利用 | 3. バスの利用 | 4. 航空機の利用 |
|------------|----------|----------|-----------|